

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和 7年 3月 28日

事業所名 リハルキッズMIYAKO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・子どもたちの人数、状況、活動内容に合わせてお部屋を選択し使用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6		・規定に沿った人数で且つ、子ども達の数やご様子に合わせて職員配置や対応を行っております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			玄関先のタイルが雨に濡れると滑りやすくなっているため、滑り止めマットを敷くなどの対応をいしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	・毎月の目標を各自で設定し、反省を行う振り返りシートを利用しながら、各職員が向上できるような取り組みを行っております。	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者様のご意見を参考にさせて頂き、対応できることから取り組んでいきたい。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・ブログにて公表しておりますのでご覧ください。ご意見やご要望等ございましたら、随時お知らせください。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		外部評価は実施出来ておりませんが利用者様からのご意見を職員間で共有し、業務改善に活かしております。第三者による外部評価を今後検討させて頂きま
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		月2回定期的な社内研修を実施しております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・保護者様よりアセスメントのご記入、面談等により計画書の作成をしております。随時見直し、対応できるように努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化されたツールに準ずる内容でアセスメントを行っております。	
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			・保護者様に分かりやすいご説明ができるよう、職員全体での知識の向上を図っていきたく思います。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・各職員が支援計画書を理解した上で、支援が行えるよう取り組んでおります。	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・毎日、職員間でスケジュールの確認、意見交換を行い、取り組んでおります。	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・目的が同じプログラムでも内容を変化させるよう工夫しております。	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・活動内容やお子さまの段階等も考慮しながら、個別、小集団、集団での支援を行っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・毎朝ミーティングを行いながら、支援内容や職員の対応、役割について意見交換、確認を行っております。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・その日の状況や課題、支援方法等について職員間で意見交換を行い、記録として残しております。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・毎日、業務日誌やケース記録等にて記録し、職員間でも確認、情報共有を行っております。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・半年ごとにモニタリングや見直しを行い、お子さまに合わせた支援ができるよう取り組んでおります。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・積極的に担当者会議に参加しております。全職員が共有できるように報告、書面にて残しております。	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		・定期的に関係機関と連絡を取り、指導、助言等を頂けるように連携していきたいと思っております。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5		
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		相談員さんを通して情報共有を行い、移行支援に繋げている。	
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	相談員さんを通して情報共有を行い、移行支援に繋げている。	直接的な情報交換が出来ていないため、必要時に支援内容を共有していきます。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		担当者会議等で、関連機関の専門職との情報共有を行っています。その際に必要とするアドバイスなどをいただいております。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		積極的な参加は出来ておりませんが、来年度より体制の見直しを行い参加出来るよう務めて参ります。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		・更に地域とのやり取りを行いながら、ネットワークを広げ、子ども達の支援へと繋げていきたいと思っております。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時にお話を伺いながら、随時、お子さまの状況や課題等の共通理解を深めております。	
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5	・ご家族様のご希望に合わせて、面談等を行いながら、個別に支援を行っております。 ・今年度から参観日も設けておりますのでご参加ください。		
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時及び、室内掲示にて行っております。	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・ご家族様に主訴等お聞きしながら、お子さまに合わせて支援計画を考え、ご説明と同意を頂いております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・必要に応じて、面談等行いながら、対応させて頂いております。 ・参観日で保護者様と関わりを持ちながら、相談しやすい環境を作っております。	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		・保護者会の開催等は、ご家族様のご意見を伺いながら、保護者間の情報交換等を行える場を提供していきたいと思っております。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・職員間で情報共有しながら、迅速に対応出来る体制を作りたいと思っております。	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・ホームページ(ブログ)等を利用し、活動内容等をご紹介します。	・今後も、より情報が伝わりやすい開示方法等も踏まえて、検討していきたいと思っております。
	37	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・細心の注意を払っております。他事業所とのやり取り等に関しましては、ご家族様の了承を得て行っております。	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		お子さまに合わせた、ツールの使用や、やり取り等を行っております。	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		・事業所の近隣での活動等は行っていますが、更に地域の方との関わりが持てる場を作りたいと思っております。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・毎月、活動の中でお子さまと一緒に取り組み、また職員のみでも訓練、確認等を行っております。	・ご家族様にも広く理解して頂けるよう、ご希望に合わせてマニュアルの開示や避難訓練の様子を発信していきたいと思っております。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・毎月、活動の中でお子さまと一緒に取り組み、また職員のみでも訓練、確認等を行っております。	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・職員全体で周知致しております。また、それぞれの対応につきましても、ご家族に確認し、迅速に対応出来る体制を整えております。	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	・対象のお子さまに関しましては、医師からの情報提供書等を確認しながら、対応させて頂いております。	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・ヒヤリハット等に関しましては、書面にて、職員が把握出来る体勢を作っております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		既存の虐待マニュアルを参考に委員会を中心とした勉強会を行い、職員の意識や理解を深められるよう取り組んでおります。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		お子様達の安全を守る為にも保護者様に丁寧に説明しております。	・やむを得ない場合のみ、必要に応じて、ご家族様にご確認、ご了承を得ながら、対応していきたいと思っております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。